

ポリープ切除に関して

大腸がんはポリープが大きくなりがん化するケースが大多数を占めます。ですので、発がんのリスクのあるポリープを早めに切除することが大腸がんの予防につながります。

実際に検査中にポリープが見つかった場合は、患者さんのご希望があれば、その場でポリープを切除することも出来ます。

(ただし、ポリープのサイズが大きい場合や、血液をサラサラにするお薬を複数の種類飲まれている場合や、単剤でも心房細動に対してワーファリン・イグザレルト・エリキュースなどの薬を飲んでいる場合はその場ではポリープが切除できないことがあります。)

ポリープ切除当日はできるだけ安静にして頂きますが、重たいものを持ったり重労働でなければ翌日からお仕事は可能です。

また、当院ではポリープ切除後出血・穿孔（腸に穴が開くこと）などの合併症のリスクが低い **cold polypectomy**（コールドポリペクトミー）という最新の手技を中心に安全なポリープ切除を行っておりますが、それでも極々稀にポリープ切除後に出血を来すことがあります。

通常は1週間以内に起こることがほとんどなので、出血のリスクを減らすため1週間は以下の行為を控えて頂いております。

運動：運動すると血流がよくなり、また腹圧をかけると出血しやすくなります。

飲酒：血流が良くなるため、出血のリスクが上がります。

旅行：遠方にいた場合、万が一出血した際に迅速に対応できなくなってしまいます。

もちろん、実際に出血などの合併症が生じた場合には、迅速に対応できるようにしております。

ポリープ切除をご希望になられる方は、上記内容を理解された上で、下記をご記入ください。

当日ポリープ切除を 希望する
 希望しない

平成 年 月 日

患者氏名 _____